品番　RX-DT35

Panasonic®

ポータブル ステレオ CD システム

取扱説明書

このたびはポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

もくじ

はじめに

演奏

録音

その他の機能

参考

付属品

- □ 電源コード （1）
- □ リモコン（品番RAK-RX933WK）（1）
- □ リモコン用乾電池 （2）

RQT4069-S

CONTENTS

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

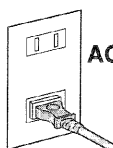
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

ご使用について

電源は交流（AC）100Vを使う

●指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。

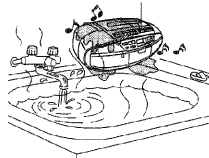
機器の上にものを載せない

●機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

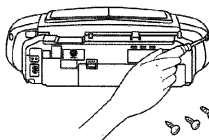
機器内部に金属物を入れない

●感電の原因になります。
●特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない

水場使用禁止

●機器が故障したり、ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
●水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

分解、改造したりしない

分解禁止

●内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠警告

もし、異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く

●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く

●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

雷について

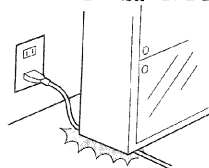
雷が鳴ったら、アンテナや機器に触れない

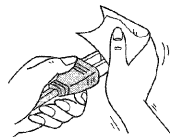
●感電の恐れがあります。

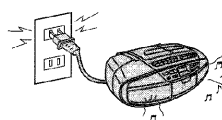
雷が鳴ったら、屋外で使わない

●落雷の恐れがあります。
●使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

電源コードについて

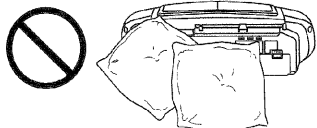
加工したり、無理な力を加えたりしない

●コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
●芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

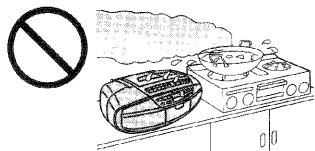
プラグのほこり等は定期的にとる

●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。ほこりなどをとった後は、乾いた布でふいてください。

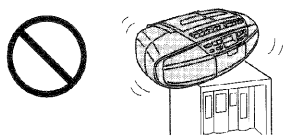
プラグのさし込みが不完全な状態で使わない

●接触不良により発熱し、火災や感電の原因になります。
●たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

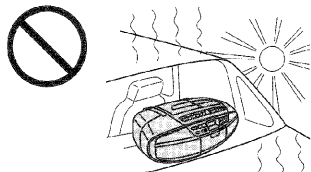
⚠注意

設置について

放熱を妨げない

●内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

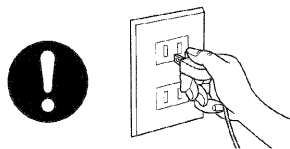
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

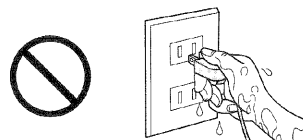
不安定な場所に置かない

●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

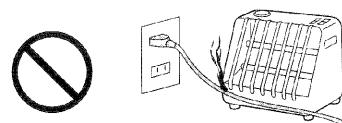
異常に温度が高くなるところに置かない

●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

●夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

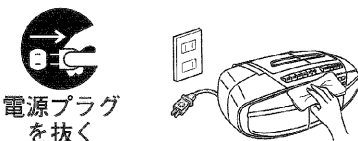
電源コードについて

抜き差しはプラグを持つ

●コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

●感電する恐れがあります。

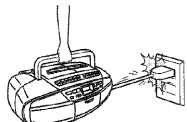
熱器具に近づけない

●コードのビニール部分が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

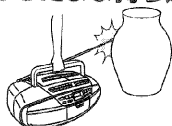
お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

●入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

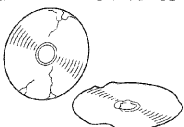
⚠注意

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

●接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
●また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

●アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクは使わない

●高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になることがあります。
●接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

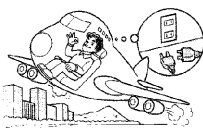
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ご使用について

機器に乗らない

●倒れたりしてけがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく

電源プラグを抜く

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

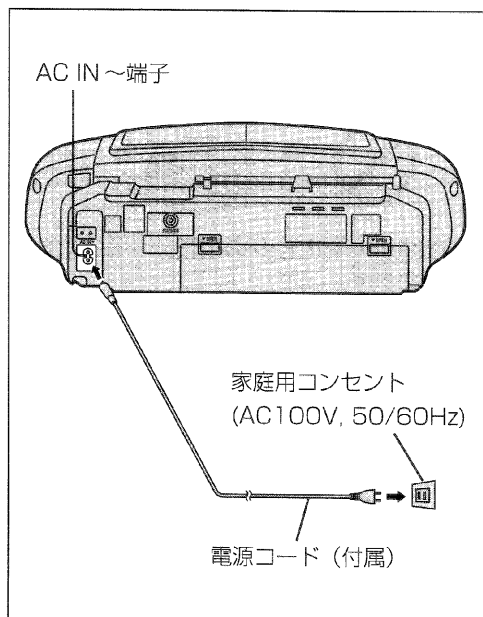
●⊕と⊖は正しく入れる
●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
●乾電池は充電しない
●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
●長期間使用しないときは、取り出しておく
●ネックレスなどの金属物といっしょにしない
●乾電池の代用として充電式電池を使わない

⚠

・取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
・万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
・液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単１形乾電池で使えます。

家庭用コンセントで使う

●電源コードを抜くときは

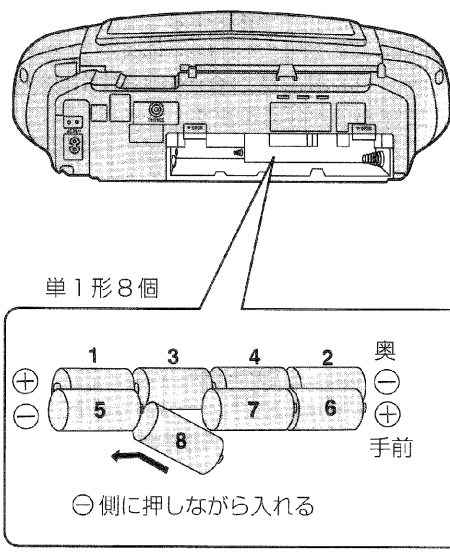
テープを止め、動作切換/電源つまみを「テープ/電源切」に合わせて電源を切ってから抜いてください。電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用乾電池（７ページ）が早く消耗します。

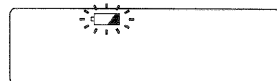
●長期間使用しないときは

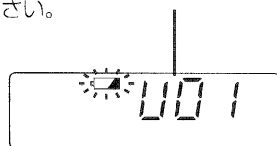
節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。ただし、メモリー用乾電池（７ページ）を入れていないと再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。（動作切換/電源つまみを「テープ/電源切」に合わせて電源を切った状態でも、1.9Wの電力を消費しています。）

乾電池（別売り）で使う

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

①電池ふたを開ける
②下図の番号順に乾電池を入れる

乾電池の交換時期

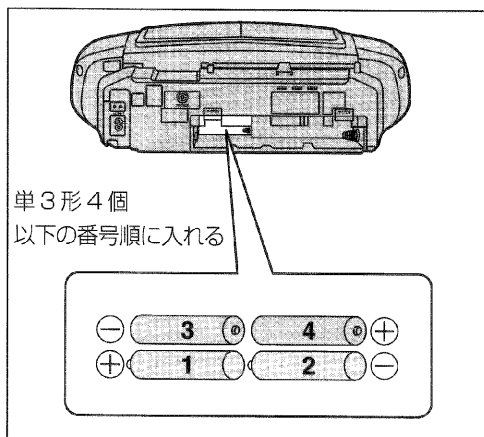
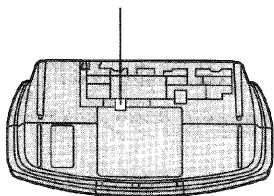
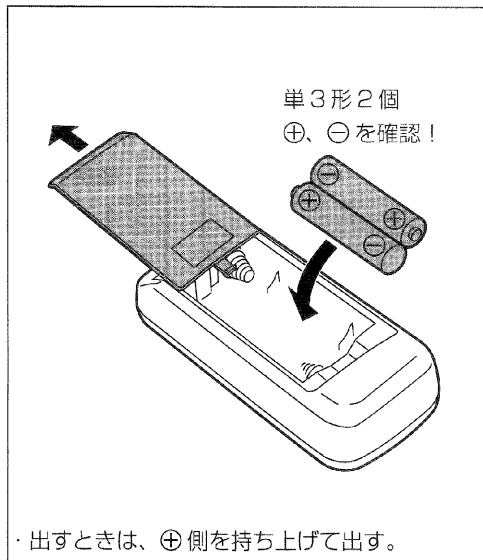
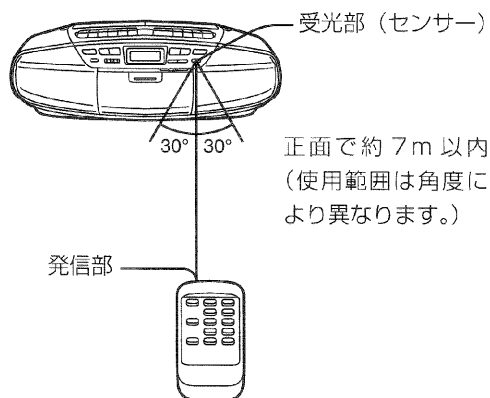
表示パネルに [電池マーク] が表示され、点滅したら、電池が減ってきていることを表しますので、録音などの前には乾電池を８個とも交換してください。

乾電池が消耗すると

電源が切れ、以下の表示をします。乾電池を８個とも交換してください。

リモコンの準備

メモリー用乾電池（別売り）

CDの予約内容や記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 乾電池で使用中に、電源コードをコンセントに接続せずに本体に差し込んだとき

出すときは底面の穴に指を入れ取り出す。

乾電池の交換について

- 寿命は約1年です。
- メモリー保護のため、電源コードをコンセントと本体に接続してから乾電池を交換してください。

乾電池（付属）の入れかた

- 出すときは、⊕側を持ち上げて出す。

リモコンの使用範囲

リモコン使用上のお願い

次のことをお守りください。

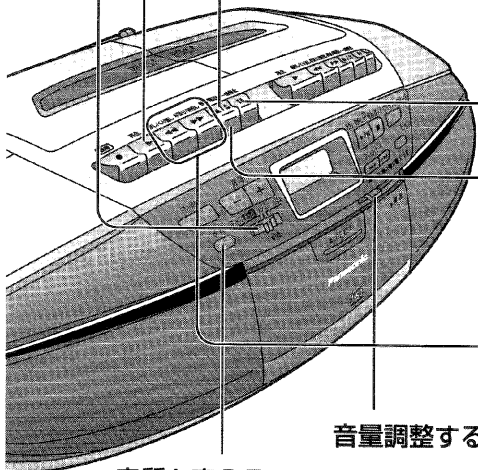
- 受光部とリモコンの間に障害物をおかない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と発信部のほこりに注意。

乾電池の交換

寿命は約1年です。

リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは、乾電池を2個とも交換してください。

各部のなまえ

（　）内の数字は主な参照ページです。

テープを聞く

デッキ 1、2のどちらでも再生できます（ここではデッキ 1 で説明します）。
・ノーマルポジションのテープが使えます。

フルオートストップ機能について
再生・録音中または早送り・巻戻し中、テープ終端に来ると自動的に停止します。

STOP 早送り・巻戻し中に「▶ 再生」を押さないでください。
テープが回転部分に巻き込まれるおそれがあります。必ず、「■/▲ 停止/取出し」を先に押してテープを止めてください。

2本のテープを続けて聞くには（デッキ 2 の片面→デッキ 1 の片面）
デッキ 2 の再生中にデッキ 1 の「▮▮ 一時停止」と「▶ 再生」を押しておく。

再生できるテープ

Normal position/TYPE Ⅰ	○
High position/TYPE Ⅱ	×
Metal position/TYPE Ⅳ	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープの特性を活かすことができません。

CDを聞く

1 「CD」に合わせる

CDトレイ内部が点灯します。
以下の表示が出たときは、本体の「■停止/クリアー」を押して電源を入れてください。

OFF

CDが入っていないことを表します。

NO DISC

2 CDトレイを開け、CDを入れる

文字のある面を上に

3 CDトレイを閉める

CDの曲数　総演奏時間

Cd 10 46:05

4 演奏を始める

最終曲まで演奏して自動停止します。

演奏中の曲の経過時間
演奏中の曲番

Cd 1 0:01

一時停止する
再び演奏するには、もう一度押します。

演奏を止める

音量調整する

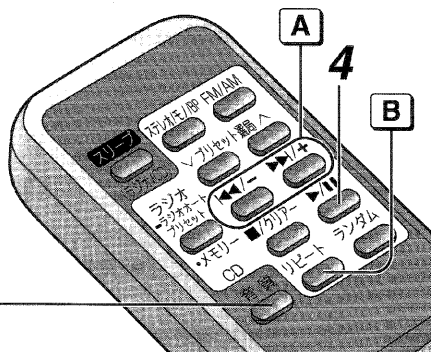
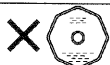
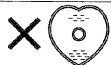
電源を切るには
「テープ/電源 切」にする

音質を変える
一度押すと、現在の状態を表示します。
表示中にもう一度押すと切り換わります。

TONE L↔TONE H

"TONE L"（トーン）にすると、高音を抑えた音になります。

A　B

ステレオ/モノ/BP FM/AM　スリープ　プリセット選局　ラジオ・CD　ラジオ・ラジオオート・プリセット　◀◀/−　▶▶/+　▶/II　メモリー　■/クリアー　ランダム　CD　リピート　音質

●ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使えません

●他の機器（ラジオ・TVなど）に雑音が入ったらできるだけ本機と離してご使用ください。

演奏中に「▲CD EJECT（イジェクト）」を押さないでください。
CDに傷が付くおそれがあります。

曲をとび越す（スキップ） A

とび越す回数だけポンポンと押す

	後退する	前進する
本体で	⏮	⏭
リモコンで	⏮/−	⏭/＋

早送り・早戻しする（サーチ） A

演奏中・一時停止中に長押しする

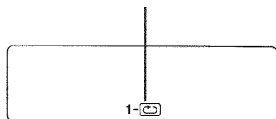
	後退する	前進する
本体で	⏪	⏩
リモコンで	⏮/−	⏭/＋

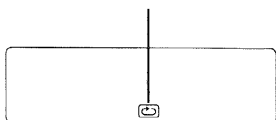
くり返し聞く（リピート）

リモコンのみ B

（押すたびに表示が切り換わります。）

1曲だけをくり返す

「リピート」を押して1-を点灯させる

全曲をくり返す

「リピート」を押してを点灯させる

好みの曲を選んでくり返す

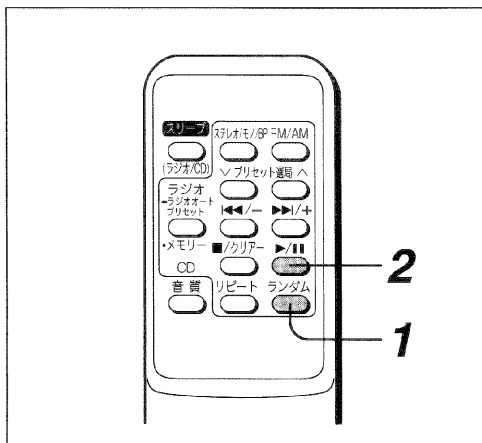
①12ページ手順1～3で好みの曲を予約する
②「リピート」を押してを点灯させる
③「▶/❚❚」を押す

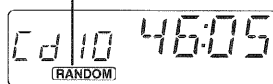
解除するには

「リピート」を押して1-またはを消す
以下のときもリピートは解除されます。

・電源を切ったとき
・⏏CD EJECT（イジェクト）を押してCDトレイを開けたとき

順不同に聞く（ランダム）

リモコンのみ

準備：本体の動作切換／電源つまみを「CD」に合わせる

1 停止中に「ランダム」を押す

2 「▶/❚❚」を押す

順不同に演奏して自動停止します。

解除するには

「ランダム」を押して RANDOM を消す
以下のときもランダムは解除されます。

・電源を切ったとき
・⏏CD EJECT（イジェクト）を押してCDトレイを開けたとき

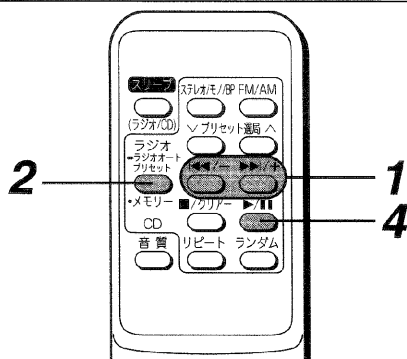
ランダム演奏中は以下の制約があります。

・好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
・曲をとび越すときは、後退することはできません。
・早送り、早戻しは演奏中の曲の中でだけできます。

演奏

好みの曲を予約して聞く（プログラム演奏）

リモコンのみ　最大 24 曲まで選んで好みの順に予約できます。

演奏

準備：本体の動作切換／電源つまみを「CD」に合わせる
表示部に RANDOM が点灯していたら、「ランダム」を押して表示を消してください。

1　**「⏭/＋」、「⏮/−」を押して曲番を表示させる**

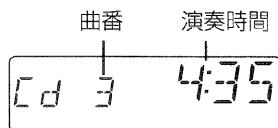
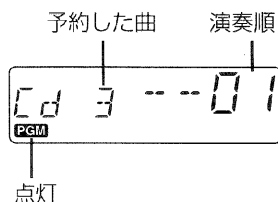
曲番　演奏時間

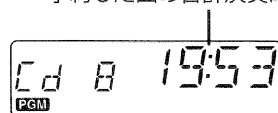
Cd 3　4:35

2　**「•メモリー」を押して予約する**

予約した曲　演奏順

Cd 3 -- -- 01
PGM

点灯

3　**1、2をくり返して続けて予約する**

予約した曲の合計演奏時間

4　**「▶/❚❚」を押して演奏を始める**

予約順に演奏し自動停止します。

解除するには

停止中に「■/クリアー」を押す
“CLR” を表示し、予約曲がすべて取り消されます。
以下のようなときにも、プログラム演奏は解除されます。
・「⏏CD EJECT（イジェクト）」を押して CD トレイを開けたとき
・メモリー用乾電池を入れないで、電源コードを抜いたときなど（7 ページ）

“−− : −−” と表示されたら

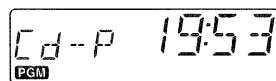
予約曲の合計演奏時間が 120 分を超えました。ただし、予約や演奏はできます。

“FULL” と表示されたら

すでに 24 曲予約されています。これ以上予約できません。

予約内容の記憶について

手順 4 の後、演奏が終了すると、下のような “P” が表示されて、予約内容を記憶していることを表します。

Cd-P 19:53
PGM

予約内容を確認するには

上記の “P” が表示されているときに、「⏭/＋」、「⏮/−」を押す
押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

ラジオを聞く

FMはステレオで、AMとTV（1～3ch）はモノラル音声です。

1「ラジオ」に合わせる
CDトレイ内部が点灯します。

右の表示が出たときは、電源が切れていることを表します。（手順2に進む）

OFF

2 "FM" または "AM" を選ぶ
FM(TV)↔AM
（押すたびに切り換わります。）

FM 76.0

TV1～3chは、FMの周波数表示の間にあります。
95.7－1ch－95.8
101.7－2ch－101.8
107.7－3ch－107.8

3 放送局を選ぶ
・ポンポンと押すと、周波数表示が、FMは0.1MHzずつ、AMは9kHzずつ動きます。

点灯するように周波数を合わせます。（電波が弱いと、点灯しなかったり、ちらついたりします。）

FM 85.1
TUNED

2 本体の電源が乾電池のときは本体で電源を入れてください。

音量調整する

電源を切るには
「テープ/電源 切」にする

A

音質を変える
一度押すと、現在の状態を表示します。表示中にもう一度押すと切り換わります。
TONE L↔TONE H

"TONE L"（トーン）にすると、高音を抑えた音になります。

自動で選局するには（手順3）

ボタンを長押しして、周波数表示が連続して変わり始めたら手を離します。放送局を受信すると表示が止まります。周波数が動き続けるのを止めるには、「選局＋、－（リモコンの ▶▶|/＋、|◀◀/－）」をポンと押します。

●自動選局で受信できないときは
周囲に妨害電波があると、放送局を受信しないのに止まることがあります。この場合は、「選局＋、－（リモコンの ▶▶|/＋、|◀◀/－）」をポンポンと押して選局してください。

●本機のTV受信回路について
FM受信回路と兼用しているため、地域によってはTVの2または3チャンネルにFM放送が混信することがあります。

FMステレオ放送で雑音が多いときは A

（ステレオ／モノラル切換）

リモコンのみ

音声をモノラルにして雑音を少なくします。

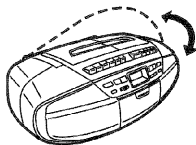
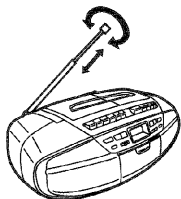
「ステレオ/モノ/BP（ビートプルーフ）」を押して MONO を点灯させる

モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
通常は MONO を消しておいてください。ステレオ放送はステレオで、モノラル放送はモノラル音声で聞くことができます。

演奏

アンテナを調整するには

FM
ホイップアンテナの長さと向きを調整する

AM
本体の向きを調整する

●乗物や建物の中では
電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

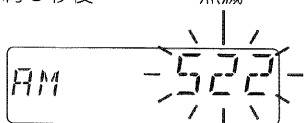
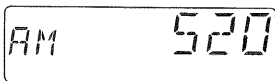
海外で使うときは

AM放送の受信

本機は9kHzごとに周波数が切り換わりますが、以下の地域では10kHzに切り換えて使えます（ワールドワイドチューナー）。

北米、中南米、東南アジアの一部

10kHzに切り換えるには
FM表示中に本体の「FM/AM」を周波数が以下のように変わるまで押し続ける（約10秒間）

約5秒後　点滅

さらに押し続けると
約5秒後

10kHzに切り換わります。

元に戻すには、もう一度同じ操作をします。
・AMのプリセット番号（15ページ）の記憶は消えます。

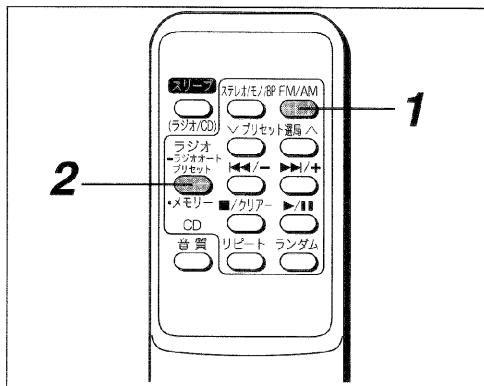
FM放送の受信

本機は0.1MHzごとに周波数が切り換わるため、0.05MHzごとに切り換わる地域では、正確に受信できないことがあります。

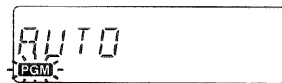
放送局を記憶させる

リモコンのみ

あらかじめ放送局の周波数を記憶させておくと、簡単に選局できます（FM，AM各10局まで）。

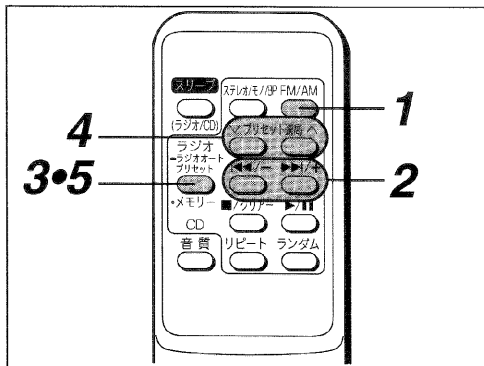
自動で記憶させる（オートプリセット）

FMの放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。
FM、AM各バンドで記憶させてください。
準備：本体の動作切換／電源つまみを「ラジオ」に合わせる

1 **“FM”または“AM”を選ぶ**
FM(TV)↔AM
（押すたびに切り換わります。）

2 **“AUTO（オート）”を表示するまで「━ ラジオオートプリセット」を長押しする**

周波数が動き始め、受信した放送局を次々に記憶していきます。
動作が終わると、プリセット番号の1番に記憶した放送局を受信します。

●オートプリセットする前にプリセット番号に記憶していたとき
オートプリセットで新たに記憶しなおしたときは、前の記憶は消えます。

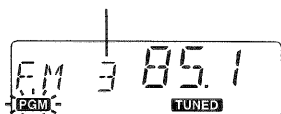
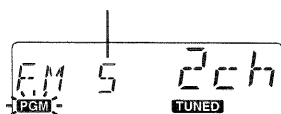
●放送局が正しく記憶できないときは
手動で1局ずつ記憶させます（15ページ）。

手動で1局ずつ記憶させる（マニュアルメモリー）

準備：本体の動作切換／電源つまみを「ラジオ」に合わせる

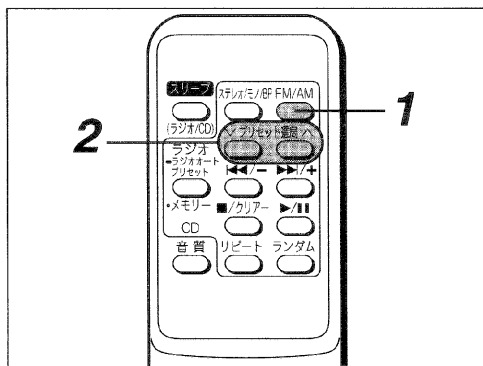
1 **“FM” または “AM” を選ぶ**

2 **「▶▶|/＋」、「|◀◀/－」を押して放送局を選ぶ**

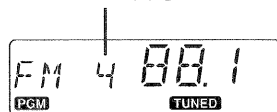
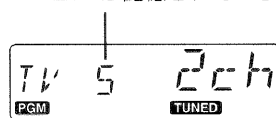
3 **「•メモリー」を押す**
表示部の PGM が点滅します。

4 **PGM の点滅中に「プリセット選局∧、∨」を押してプリセット番号（1～10）を表示させる**
プリセット番号

FMのプリセット番号5にTV2chが記憶されているとき

5 **PGM の点滅中に「•メモリー」を押す**
操作の途中で点滅が消えたら、もう一度手順3に戻ってください。

6 **手順2～5をくり返して他の放送局を記憶させる**

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

準備：本体の動作切換／電源つまみを「ラジオ」に合わせる

1 **“FM” または “AM” を選ぶ**

2 **「プリセット選局∧、∨」を押して好みのプリセット番号を選ぶ**
プリセット番号

FMのプリセット番号5にTV2chが記憶されているとき

オートプリセットで記憶された不用なプリセット番号を消すには

《例》プリセット番号3が不用なとき
①プリセット番号3を表示させる（上記手順2）
②「•メモリー」を押す（PGM が点滅）
③PGM の点滅中にプリセット番号表示が“－－”になるまで「プリセット選局∧、∨」を何度も押す
④「•メモリー」を押す
次からプリセット選局するときは、プリセット番号3をとばして1→2→4→5→6→…のように表示されます。

演奏

CD を録音する（デッキ１のみ）

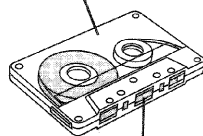
録音を開始すると同時にCDの演奏が始まります。

・ノーマルポジションのテープが使えます。

1 デッキ１のカセットふたを開け、テープを入れる

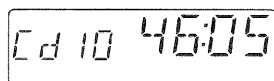
・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る
（17ページ）

・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置で止めておく（9ページ）

録音を始める面を上に

テープが見える方を手前に

2 CDを入れ、「CD」に合わせる

必ず以下のように演奏時間を表示させてください。

Cd 10 46:05

3 録音を始める

「▶ 再生」ボタンも押し込まれます。
CDの演奏が同時に始まります。

・CDの演奏が先に終わると
CDは止まり、テープは録音を続けます。

・テープの終端に来ると
録音は止まり、CDは演奏を続けます（曲が途切れることがあります）。
反対面に続けて録音するには、テープを入れなおし、再び録音を始めてください。

録音を一時停止する
CDは止まりません。
再び録音するには、もう一度押します。

録音を止める
CDは止まりません。

録音

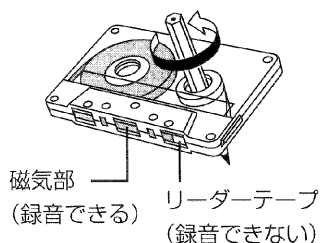
好みの曲を録音するには

手順2で好みの曲を予約する（12ページ手順1～3）

テープのつづきに別のCDを録音するには

①1枚目のCDが終わったら「■/⏏停止/取出し」を押して録音を止める
②CDを入れ換える
演奏時間を表示させます。
③「●録音」を押してCD演奏と録音を始める
④2枚目のCDが終わったら「■/⏏停止/取出し」を押して録音を止める

リーダーテープを巻き取るには

テープの端のリーダーテープ部（色の違う部分）には録音できません。あらかじめ巻き取っておいてください。

ご参考

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
- 録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビからでる電波の影響で雑音が録音されることがあります。1.5m以上離してご使用ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音・再生できるテープ

テープ	
Normal position/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
High position/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	×
Metal position/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

ラジオ放送を録音する（デッキ１のみ）

・ノーマルポジションのテープが使えます。

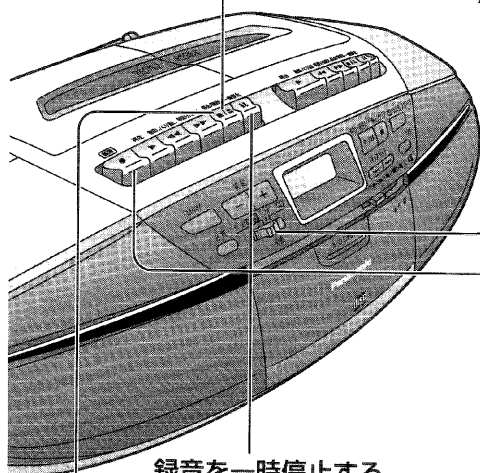
1 **デッキ１のカセットふたを開け、テープを入れる**

・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る（17ページ）

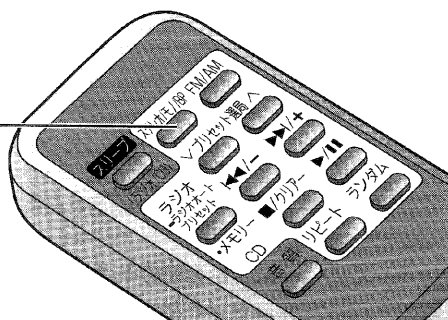
・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置で止めておく（9ページ）

2 **「ラジオ」に合わせる**

3 **放送局を選ぶ**
（13～15ページ）

4 **録音を始める**
「▶ 再生」ボタンも押し込まれます。

録音を一時停止する
再び録音するには、もう一度押します。

録音を止める

AM放送録音中、雑音（ピーという音）が多いときは
“bP1” か “bP2” のうち雑音が少なくなる方を選ぶ

録音

（ご参考）

・録音レベルは自動的に設定されます。
・録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
・乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

録音できるテープ

Normal position/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
High position/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	×
Metal position/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

テープからテープへ録音する（テープダビング）

・ノーマルポジションのテープが使えます。

1 「テープ/電源 切」に合わせる

2 デッキ2に再生用テープ、デッキ1に録音用テープを入れる

・テープの始めから録音するとき
リーダーテープを巻き取る（17ページ）

・テープの途中から録音するとき
テープを聞いて録音を始める位置で止めておく（9ページ）

3 デッキ1の「❚❚ 一時停止」と「●録音」を押す

「▶ 再生」ボタンも押し込まれます。

4 デッキ2の「▶ 再生」を押し、録音を始める

デッキ2の再生とデッキ1の録音が同時に始まります（シンクロスタート機能）。
録音中に動作切換／電源つまみを切り換えないでください。

録音を一時停止する
再び録音するには、もう一度押します。

録音を止めるには
デッキ2は止まりません。

●再生用テープのおもて面が先に終わると
デッキ2は止まり、デッキ1は録音を続けます。
①デッキ1を止める
②デッキ2のテープを裏返す
③デッキ1の「❚❚ 一時停止」と「●録音」を押す
④デッキ2の「▶ 再生」を押す

●録音用テープのおもて面が先に終わると
デッキ1は止まり、デッキ2は再生を続けます。
①デッキ2を止める
②デッキ1のテープを裏返す
③デッキ1の「❚❚ 一時停止」と「●録音」を押す
④デッキ2の「▶ 再生」を押す

録音・再生できるテープ

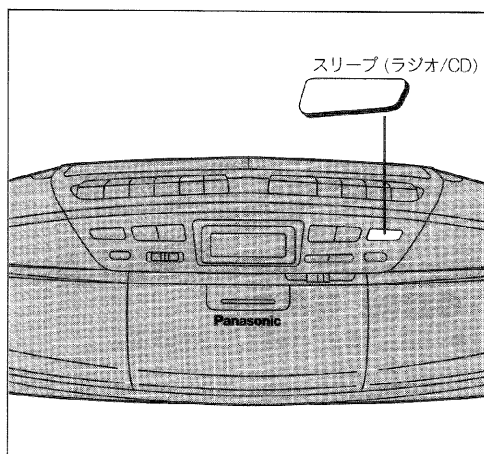
ノーマルポジション Normal position/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション High position/TYPE Ⅱ	×
メタルポジション Metal position/TYPE Ⅳ	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音されないことがあります。

ご参考
・録音レベルは自動的に設定されます。
・録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響ありません。
・乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

録音

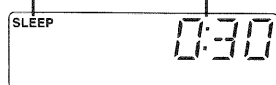
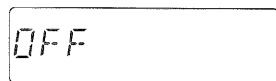
おやすみタイマーを使う（CDまたはラジオ）

CDまたはラジオのとき使えます。
ラジオ、CDの演奏が止まるまでの時間を最大2時間まで設定できます。

本体またはリモコンの「スリープ」を押して、好みの時間を4種類の中から選ぶ

0:30→1:00→1:30→2:00→元の表示（解除）

（押すたびに表示が切り換わります。）

スリープタイマー表示

設定した時間

設定した時間が過ぎるとラジオ、CDの演奏が止まります。テープが止まっていると電源が切れ、以下の表示をします。

解除するには

スリープタイマー表示が消えるまで「スリープ」を何度も押す

残り時間を確かめるには

動作中に「スリープ」を押す

残り時間を変えるには

好みの時間が表示されるまで「スリープ」を何度も押す

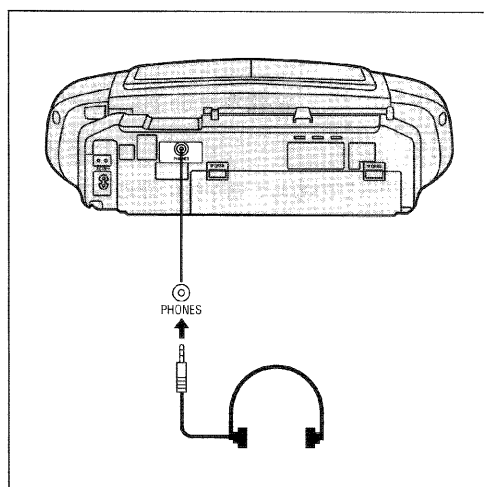
おやすみタイマーでラジオやCDを録音するとき

設定した時間が過ぎると、ラジオまたはCDは止まりますが、テープは終端まで無音で録音を続けます（以下の表示が出ます）。「■/▲ 停止/取出し」を押してテープを止めてください。

0_0

テープの時おやすみタイマーは使えません。

- 切換つまみが「テープ/電源 切」の状態で「スリープ」を押しても、おやすみタイマーは動作しません。
- おやすみタイマーの動作中に切換つまみを「テープ/電源 切」に合わせると、おやすみタイマーは解除されます。

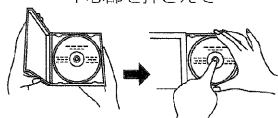
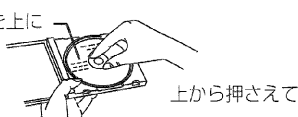
ヘッドホンで聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

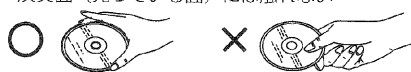
プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品：RP-HT400（別売り）

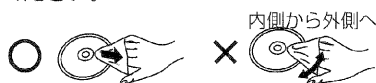
CDについて

のマークが入ったものをご使用ください。
ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のCDはご使用になれません。（ご使用になると、機器の故障の原因となります。）

出しかた

入れかた

持ちかた

演奏面（光っている面）には触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、後は空ぶきをしてください。

露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取り扱い上のお願い

次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシールを貼らない（シールが貼ってある場合は、のりなどがはみ出していることがあります。故障の原因となりますのでよくふき取ってからご使用ください。）

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

100分以上のテープについて

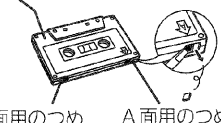
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

エンドレステープについて

使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープに付いている使用説明をお読みください。

テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

録音したテープを誤って消さないために

・もう一度録音するには

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温（35℃以上）高湿（80％以上）のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くやテレビの上など）

テープの音を消すには

①消したいテープをデッキ１に入れる
②動作切換／電源つまみを「テープ/電源 切」に合わせる
③「●録音」を押す

著作権について

・放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
・従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
・使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

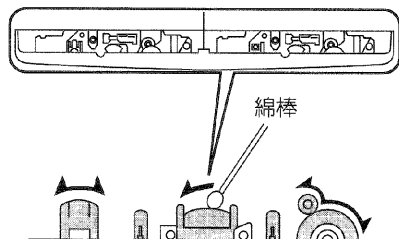
本　　部	(03) 3502－6551
北海道支部	(011) 221－5088
盛 岡 支 部	(0196) 52－3201
仙 台 支 部	(022) 264－2266
大 宮 支 部	(048) 643－5461
東 京 支 部	(03) 3562－4455
西東京支部	(03) 3232－8301
東京イベント・コンサート支部	(03) 5286－1671
立 川 支部	(0425) 29－1500
横 浜 支 部	(045) 662－6551
静 岡 支 部	(054) 254－2621
中 部 支 部	(052) 583－7590
北 陸 支 部	(0762) 21－3602
京 都 支 部	(075) 251－0134
大 阪 支 部	(06) 244－0351
大阪北支部	(06) 244－7077
神 戸 支 部	(078) 322－0561
中 国 支 部	(082) 249－6362
四 国 支 部	(0878) 21－9191
九 州 支 部	(092) 441－2285
鹿児島支部	(0992) 24－6211
那 覇 支 部	(098) 863－1228

お手入れ

本体・リモコン表面のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきをしてください。
・化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。
・アルコールやシンナーは使わないでください。

カセットデッキ内部のお手入れ

よい音質で録音・再生するために、約10時間使うたびに清掃することをおすすめします。
①「■/▲ 停止/取出し」を押してカセットふたを開ける。
②綿棒をアルコール液またはクリーニング液につけ、下図（テープが触れる部分）の汚れをふき取る。
推奨品：クリーニングキット（RP-919、別売り）

CDレンズのお手入れ

CD部に内蔵されているレンズにほこりや指紋などが付くと音が飛んだり、正しく動作しなくなります。このことを防ぐため、定期的なお手入れをおすすめします。
推奨品：CDレンズクリーナー（RP-CL400、別売り）

参考

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置（参照ページ）
共通	“U01”が表示された。	乾電池が消耗しています。	新しい乾電池と交換する。または家庭用コンセントを使う。(6)
	“U02”が表示された。	電源が準備されていません。	乾電池を入れる。または電源コードを接続する。(6) 停電などで一時的に電源が切れたときは、再び通電すると元に戻ります。
CD	演奏が始まらない。曲数などの表示が出ない。	CDが表裏逆に入っていませんか。	文字のある面を上にして入れる。(10)
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。
	特定の個所が正しく演奏されない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。(21)
		CDに傷がありませんか。	CDを取り換える。
テープ	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。(21)
	雑音が多い。音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	カセットデッキ内部を手入れする。(22)
	カセットが取り出せない。カセットを入れてもふたが閉まらない。	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池または家庭用電源を使用し、「▶ 再生」を押したあと「■/▲ 停止/取出し」を押す。
	テープが動いているのに音が出ず、右の表示が出た。	0_0	「■/▲ 停止/取出し」を押してテープを止める。
ラジオ	雑音が多く、うまく選局できない。	アンテナの向きなどが悪くありませんか。	アンテナの向きなどを変えてみる。(14)
	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	リモコンを離す。
		テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。

保証とアフターサービス よくお読みください。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間

■修理を依頼されるとき
23ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください（下のサービス伝言カードをご利用になると便利です）。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後６年間保有しています。
注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

（切り取ってご利用ください）

<サービス伝言カード>

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店にお持ちください。

（ふりがな） お名前			
ご住所			
ご連絡先	電話（　　）　－		
商品名	ポータブルステレオCDシステム	品番	RX-DT35
ご購入日		ご依頼日	

故障または異常の内容
（このような場所で、…していたとき、こんな故障になった）

※私の希望修理代金は＿＿＿＿＿＿円までです

お客様ご相談センター

0120-878-365（バナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0297

参考

修理ご相談窓口

北海道地区

- 札幌 ☎(011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
- 旭川 ☎(0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号
- 帯広 ☎(0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
- 函館 ☎(0138)53-7107 函館市山の手1丁目1-15

東北地区

- 青森 ☎(0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37
- 秋田 ☎(0188)26-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2
- 岩手 ☎(0196)39-5120 盛岡市羽場13地割30-3
- 宮城 ☎(022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
- 山形 ☎(0236)41-8100 山形市流通センター3丁目12-2
- 福島 ☎(0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

- 栃木 ☎(028)632-8450 宇都宮市中央1丁目8-13
- 群馬 ☎(0273)52-1217 高崎市萩原町沖中205-18
- 両毛 ☎(0276)25-6870 太田市東新町244-1
- 水戸 ☎(029)225-0119 水戸市柳河町309-2
- つくば ☎(0298)55-7860 つくば市梅園2丁目1-13
- 埼玉 ☎(048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
- 千葉 ☎(043)251-3537 千葉市稲毛区園生町369-1
- 船橋 ☎(047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7
- 柏 ☎(0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
- 東京 ☎(03)5477-9780 東京都世田谷区経堂5丁目26-8
- 山梨 ☎(0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
- 神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
- 新潟 ☎(025)286-0171 新潟市東明1丁目8-14
- 佐渡 ☎(0259)23-2898 両津市秋津字境108-1
- 長岡 ☎(0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
- 上越 ☎(0255)44-6871 上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

- 石川 ☎(0762)94-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
- 富山 ☎(0764)32-8705 富山市寺島1298
- 福井 ☎(0776)54-5606 福井市開発4丁目112
- 長野 ☎(0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7
- 静岡 ☎(054)287-9000 静岡市西島765
- 名古屋 ☎(052)614-3136 名古屋市南区西又兵衛町3丁目48
- 岡崎 ☎(0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
- 岐阜 ☎(058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
- 高山 ☎(0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
- 三重 ☎(0592)55-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

- 滋賀 ☎(0775)82-5021 守山市勝部町260
- 京都 ☎(075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1
- 大阪 ☎(06)359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7
- 奈良 ☎(07435)9-2770 大和郡山市椎木町404-2
- 和歌山 ☎(0734)75-1311 和歌山市中島499-1
- 兵庫 ☎(078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

- 鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1
- 米子 ☎(0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33
- 松江 ☎(0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19
- 出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416
- 浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93
- 岡山 ☎(086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
- 広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
- 山口 ☎(0839)89-4445 山口市大字佐山1120-1

四国地区

- 香川 ☎(0878)74-6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663-1
- 徳島 ☎(0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
- 高知 ☎(0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
- 愛媛 ☎(089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

- 福岡 ☎(092)593-9036 春日市春日公園3丁目48
- 佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2
- 長崎 ☎(0958)30-1658 長崎市東町1949-1
- 大分 ☎(0975)56-3815 大分市萩原4丁目8-35
- 宮崎 ☎(0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納336-2
- 熊本 ☎(096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
- 天草 ☎(0969)22-3125 本渡市港町18-11
- 鹿児島 ☎(099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目7-36
- 大島 ☎(0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

- 沖縄 ☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

ラジオ部

受信周波数
FM：76.0－108.0MHz（TV：1ch-3ch）
AM： 522－1629kHz（9kHzステップ）
520－1710kHz（10kHzステップ）

テープレコーダー部

トラック方式 ステレオ
録音方式 交流バイアス
消去方式 マグネット消去
モニター方式 バリアブルサウンドモニター
周波数範囲（ノーマルポジション）
50－12,000Hz（EIAJ）

CDプレーヤー部

標本化周波数 44.1kHz
復号化 16ビット直線
光源 半導体レーザー（波長780nm）
オーディオチャンネル数 2チャンネルステレオ
ワウ・フラッター 測定限界以下
DAコンバーター MASH※（1ビットDAC）

メモリー部

電源 DC6V（単3形乾電池4個）
電池持続時間 約1年間
（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

リモコン部

電源 DC3V（単3形乾電池2個）
電池持続時間 約1年間
（ナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
44×95×27㎜（EIAJ）
質量 約83.5g（乾電池を含む）

共通

スピーカー 10㎝丸形6Ω×2個
出力端子
PHONES： M3ステレオ
実用最大出力（DC時） 2.5W＋2.5W（EIAJ）
乾電池持続時間
ラジオカセット部 約24時間（EIAJ録音時）
約11時間（EIAJ音楽再生時、音量8程度）
CD部 約8時間（CD連続演奏時）
（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20PU使用時）
電源
電灯線： AC100V, 50/60Hz
乾電池： DC12V（単1形乾電池8個）
・乾電池の代用として充電式電池を使わない。
消費電力 AC15W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
480×156×243㎜（EIAJ）
質量 約3.5㎏（乾電池なし）
約4.5㎏（乾電池を含む）

・電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※MASHは、NTTの登録商標です。

動作切換／電源つまみ「テープ/電源切」時の消費電力… 1.9W（ACのとき）

参考

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用の本機の点検を!

このような症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音が出ないことがある ・正常に動作しないことがある ・商品に破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	（　　）　―	品番	RX-DT35

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部

〒571　大阪府門真市松生町１番４号

RQT4069-S
F0397Z0 (D)